

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 6 月 10 日 (2021.6.10)

【公表番号】特表 2020-526100 (P2020-526100A)

【公表日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-034

【出願番号】特願 2019-571654 (P2019-571654)

【国際特許分類】

H 0 4 L 1/00 (2006.01)

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

【F I】

H 0 4 L 1/00 F

H 0 4 L 27/26 1 1 4

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 28/06

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 19 日 (2021.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤレス通信のための方法であって、

復調基準信号(DMRS)送信信号に関連付けられた基準信号ビットのセットと、データ送信信号に関連付けられたデータビットのセットとを検出するステップと、

前記基準信号ビットのセットに少なくとも部分的に基づいて、スクランプリングコードを識別するステップと、

前記識別されたスクランプリングコードに少なくとも部分的に基づいて、前記データビットのセットをデスクランブルするステップと

を含み、

前記DMRSは、物理データチャネルに関連付けられたタイミング情報を含む、  
方法。

【請求項 2】

前記データ送信信号が、物理データチャネルを使用して送信される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

巡回冗長検査(CRC)ビットのセットに少なくとも部分的に基づいて、CRC検証プロセスを実行するステップであって、前記CRCビットのセットが、前記基準信号ビットのセットと前記データビットのセットの両方に少なくとも部分的に基づいて計算される、ステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

ワイヤレス通信のための方法であって、

復調基準信号(DMRS)送信信号に関連付けられた基準信号ビットのセットと、データ送信信号に関連付けられたデータビットのセットとを識別するステップと、

前記基準信号ビットのセットに少なくとも部分的に基づいて、スクランプリングコードを識別するステップと、

前記識別されたスクランプリングコードに少なくとも部分的に基づいて、前記データビットのセットをスクランブルするステップと、

前記DMRS送信信号と前記データ送信信号とを送信するステップとを含む、

前記DMRSは、物理データチャネルに関連付けられたタイミング情報を含む、方法。

【請求項 5】

前記基準信号ビットのセットと前記データビットのセットの両方に少なくとも部分的に基づいて、巡回冗長検査(CRC)ビットのセットを計算するステップをさらに含む、請求項4に記載の方法。

【請求項 6】

前記データ送信信号が、物理データチャネルを使用して送信され、

前記DMRS送信信号が、DMRS送信信号のために予約されたリソースを使用して送信される、  
請求項4に記載の方法。

【請求項 7】

前記DMRS送信信号が、前記物理データチャネルに関連付けられた位相基準情報を搬送する、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

ワイヤレス通信のための装置であって、

復調基準信号(DMRS)送信信号に関連付けられた基準信号ビットのセットと、データ送信信号に関連付けられたデータビットのセットとを識別するための手段と、

前記基準信号ビットのセットに少なくとも部分的に基づいて、スクランプリングコードを識別するための手段と、

前記識別されたスクランプリングコードに少なくとも部分的に基づいて、前記データビットのセットをスクランブルするための手段と、

前記DMRS送信信号と前記データ送信信号とを送信するための手段とを備え、

前記DMRSは、物理データチャネルに関連付けられたタイミング情報を含む、装置。

【請求項 9】

ワイヤレス通信のための装置であって、

復調基準信号(DMRS)送信信号に関連付けられた基準信号ビットのセットと、データ送信信号に関連付けられたデータビットのセットとを検出するための手段と、

前記基準信号ビットのセットに少なくとも部分的に基づいて、スクランプリングコードを識別するための手段と、

前記識別されたスクランプリングコードに少なくとも部分的に基づいて、前記データビットのセットをデスクランブルするための手段と、

を備え、

前記DMRSは、物理データチャネルに関連付けられたタイミング情報を含む、装置。

【請求項 10】

巡回冗長検査(CRC)ビットのセットが、前記基準信号ビットのセットと前記データビットのセットの両方に少なくとも部分的に基づいて、計算される、  
請求項8に記載の装置。

【請求項 11】

前記データ送信信号が、物理データチャネルを使用して送信され、

前記DMRS送信信号が、DMRS送信信号のために予約されたリソースを使用して送信される

、  
請求項8に記載の装置。

【請求項 1 2】

前記DMRS送信信号が、前記物理データチャネルに関連付けられた位相基準情報を搬送する、請求項11に記載の装置。

【請求項 1 3】

実行されると、請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の方法を実行するコードを含む、コンピュータプログラム。